

分かる！& 韓国文化 ハングル講座



講師: 札幌国際大学人文学部国際教養学科准教授 趙恵真(チョ・ヘジン)先生

昨年度は韓国ドラマの講座を時代劇と現代劇に分けて2回にわたり開催する中で、韓国文化などを学んできました。今年度は韓国ドラマや韓国文化に加え、初心者向けハングル講座も開催しました。

開催広報後まもなく受講申込者が増え、受講のきっかけも詳しく記して申し込んでくださる方もいました。募集の段階から、講座への期待する気持ちや受講熱意を感じられるのが趙先生の講座へ参加を決める受講者の特徴です。案内の講師メッセージにあるように、受講者は「好奇心が増して、わくわくする時間になる」との期待を感じて講座への参加を決めてくれたようです。

6月開催の「韓国ドラマから分かる！韓国文化」では、空色と光沢を押さえた落ち着いた目の赤を組み合わせ、夏らしく爽やかな色合いの韓服(ハンボク)で講師が登壇。明るい雰囲気の中講座が始まりました！

第1回目 ドラマで分かる！韓国文化 (2026.6.20)

最初に、韓国ドラマでよく登場する場面、食卓のシーンを皮切りに解説を受けました。パンモゴッソヨドラマで「一緒にご飯を食べる人」との関係や、挨拶と同様の意味を成す「ご飯食べましたか?(밥 먹었어요?)」。実はその人への関心や思いやりを表しているそうです。「食」とそれを囲む「人」を大事にする背景には、韓国にとって厳しく貧しかった戦後の時代にも関わりがあり、大変な時に互いを気遣い合った習慣が残っているとも……。その日常があるからこそ、ドラマでも登場人物達の関係性が食卓シーンから見えてくるそうです。

あるドラマでは、お隣の人たちそれぞれが作った総菜をお裾分けし合い、自宅の夕食が品数多く豊かな食卓に変わっていく様と、彼らの関係がコミカルに伝わるシーンを紹介されました。受講者からは「日本の過去にもあったものが韓国に少し残っている感じ」がするとの感想がありました。

時代劇の場合は、男女の服装やヘアスタイルから読み取れる時代と身分の違い、暮らしぶりの紹介も。例えば、女性の衣装には流行があり時代を追うごとに代わり、上着であるチョゴリの裾の長短で時代が分かるそうです。

さらに講師が「外せないポイント」として、韓国で話題となり誰もが知る有名ドラマの名シーンや名セリフを含む元祖となるドラマが、新しいドラマの中で上手く活用される場面なども紹介されました。ストーリーをすべて語らなくても示唆的に伝えられる効果や、一転、反面教師的に新しい表現として過去のドラマシーンが生かされるなど、知っておくと一層、ドラマを楽しめるコツを教えてくださいました。

講師からは「物語として見ながらも韓国の文化や価値観が(ドラマには)反映されている」と、講座のまとめを伝えられました。

教室の「スクリーンがあったのでよく分かり」、「観たことのあるドラマでもいろいろ理解できてよかった」と感謝する声も。また講師の韓服の素敵さとお洒落ポイントをドラマ「チャンギム」を引き合いに感想を寄せる受講者もいました。

第2回目 90分で終わる！ハングル講座 (2026.7.4)

ハングルの学習経験者ばかりではなく、丸や線などの記号にしか見えていない初心者も多い中、講師は笑顔で「分かるようになりますよ！駅名も読めるようになりますよ！」と。受講者は励まされつつ講座が始まりました。

「ハングル」は「韓国語を表記するための韓国固有の文字」であり、ユネスコ世界記録遺産であるそうです。文字をつくった人物と年代も判明しており、古書『訓民正音』の記録によると、「(漢文の知識のない)庶民が言いたいことを書けるようにつくった」という「世宗大王(セジョンドイオウ)」を紹介されました。講師によれば、「文字」は権力の象徴であり、使える者は王侯貴族に限られていた時代のこと。韓国では敬愛を込めて「大王」の名を冠して呼ばれているそうです。1443年に28字が創製され、1446年に公布されて、現在では24字が常用されているとのことでした。

さて、発音や文字の書き方を習った皆さんはどうだったでしょう。

「特急電車並みのスピードで、ハングルの構成と読み方を教わりました。～(一部略)～復習しないとダメですね。2回の講習で韓国語をもう少し覚えたいと思いました。」「ハングル表を持ち歩いて街中を探索したい。」講座終了後は「本当だ。記号ではなく、文字に見えるようになったね。」と言う方もいました。

この講座では、ハングルで自分の名前や住んでいる地区を書き記すことができるようになりました。しかし、常用するには学習の時間が必要であることを理解されたようです。ハングルの学ばいい走り出しになりました。

「ユーモアを交えてわかりやすい講義」との感想もあり、明るい講座の雰囲気を受けて、前向きな気持ちのままに聴講し学ぶことができました。すでに次の講座開講を促すリクエストもありました。

